
バカとテストと召喚獣～幼馴染はロリータです～

唆斗蛇駆

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

バカとテストと召喚獣～幼馴染はロリータです～

【Zコード】

Z6547Y

【作者名】

唆斗蛇駆

【あらすじ】

中二の時に海外に行ってしまった吉井明久の幼馴染、佐藤悠美が文月学園Fクラスに転校してきた！バカな彼ら織り成すおバカラブコメディ！

プロローグ

「え・・・転校？」

「・・・うん」

中学2年生の夏休みそれは突然訪れた。親同士が幼馴染みなのもあって小さい頃から兄弟のような存在だった悠美が突然転校することになった。

「何で急に転校することになったのさ？！」

「あのね、親の仕事の都合で・・・私も一昨日言わねばっかで・

・・・」

「そんな・・・」

「あっ、でも高校2年生くらいにならまた戻つてくるから

そんな・・・これから僕はびりやつて宿題をやればいいんだ・・・一人でやつたら一問もできないってのに

「ねえ、アキ兄。」

「な、なにさ！悠美

「私がいなくなつたら宿題出来ないと考へてない？」

「ううつ！そ、それは・・・」

くそ！こんだけ付き合いで長いと表情だけで考へが読まれてしまつ！

「それでね、イギリスに転校するんだけど・・・最後にお願いがあるの

「何でも言ひなさい！僕が出来るだけのことはするよー。」

そういうって僕は胸を張り自信満々に言つた

「あ、あのね。その・・・アキ兄に・・・だ、抱いてほしいんだけ
ど／＼／＼」

「えええええ！？い、いくら僕らが長い付き合いで言つてもさ
すがにそれは・・・僕らも年頃だし／＼／＼」

「いや・・・なの？」

う、上目遣いだと！これは破壊力抜群だ！笑つて見送りつつと思つた
のにその前に僕の理性が崩壊してしまう・・・
抱こうか抱くまいか迷つていたら・・・

「あ、もう時間だ！」

「え！？もう行くの」

「うん・・・じゃね、アキ兄」

このまま4年間も会えない幼馴染を見送つていいのか？

・・・いや、駄目だ！

悠美が部屋から出ていく前に・・・

「悠美！」

ガバッ

「え・・・」

僕は悠美を強く抱きしめた・・・

「いつてらっしゃい、悠美」

「またね、アキ兄」

そして僕は悠美を放して玄関で見送つた・・・

「アキ君、気を落とさずに

「うん、大丈夫だよ。姉さん」

「そうですか。ではアキ君、さき悠美さんを抱きしめたことは、聞いて言い訳はありますか？」

こうして僕の幼馴染は転校していった。・・・

プロローグ（後書き）

はじめまして！初投稿です！

つたない文章ではありますが良かつたら今後とも読んでください！

ヒロイン設定

名前	佐藤悠美
身長	132?
体重	トップシーレット
性格	天然 ドジ ふんわりした感じ
趣味	お菓子を食べること 明久と一緒にいること
特技	料理 明久が考えていることなら表情だけでわかる
好きなもの	明久 甘いもの 友人
嫌いなもの	明久をいじめる人 辛いもの 苦いもの
外見	イン ツクスさんの感じ 原作9・5巻の美波的なツインテール しばつてない時 は腰くらいまであつて先の方が癖つ毛
運動	運動は苦手で、体力はあまりない

召喚獣

服装 白のスクール水着にセーラー服の上だけ
武器 ステッキ

武器は通常時は鈍器として使用してるが、攻撃力はあまりない
特殊能力はなぜか2つあります。
1つは、相手の動きを止める。このとき3秒に1点減点。発動する
際に「ストップ！」と言う
2つめは、ステッキの先から光線を放つ。この際「ビーム！」と言
う。点数の4分の1を消費する。
能力は2つ同時に発動も可能だが点数の4分の3消費してしまう。

ヒロイン設定（後書き）

こんな感じで行きたいと思います。
性格をつまく表現できなかもしれないですがその時は「」ぬぐわな
い。

果たして…私はこの話を最後まで書き終べる「」ことが出来るのか……?

以上、駿斗蛇闘でした！

文月学園の前にある車が1台止まつた

「ちゃんとクラスで友達作るんだぞ！」

「もお、
そんな子供じゃなしよ！じゃあね、」

そして車は去つて行つた。・・・・。

「」」が文用学園か・・・楽しみ?」

「おい明久。この前の島田と姫路との『テート』どうだつた？」

「ちよつ！雄一 そんな大きな声で言つたら・・・」

そんな叫び声をあげて僕はつかまつてしまつた！くそ！出遅れたか！

『男とは愛を捨て哀に生きるもの！吉井明久には・・・・死の制裁

くそ！万事休すか！？

「お前ら……何をしとるか……早く席に着け……」

そこに現れた僕の救世主は、肌が浅黒い、トライアスロンが趣味といつ筋骨隆々の生徒指導の教師西村宗一こと鉄人が勢いよく扉を開けた

「突然なんだが、転校生を紹介する」

『うおおおおおおおおー』

『女子ですか！？』

『かわいかつたら結婚してくれ！…』

誰だ！顔も見てないのに結婚とか言つたやつは……！
それにして珍しいな……こんな時期に転校なんて

「入つていいぞ」

教室に入ってきたのは……小学生のような女の子だった……。
・あれ？どうかで見たことあるような……

「え、えと……今日からこのクラスにお世話になりますーと、佐藤悠美です。よろしくです」

『付きあって下さい！…』

『悠美ちやーーーーん！…』

『マイエンジン………ル………』

くつーーーー

この僕の理性が崩壊しそうになる殺人スマイルはどこか身に覚えが…
・・・・

「あ。ちなみに将来の夢は・・・」

どつかで・・・

「吉井明久のお嫁さんになることです？」

くそ！逃げ切れるか！？僕が走りだそうとした瞬間・・・

『YEAH!マイエンジェル!!--』

良かつた・・・。悠美のおかげで助かつた・・・。
それにしてもとうとう悠美が帰ってきた・・・これからが楽しく、
いや・・・大変になりそうだ・・・

第1話（後書き）

どうも！峻斗蛇駆です！
いやホント！小説つて難しいです・・・。でも頑張りたいと思いま
す。気に入っただけたら今後ともよろしくお願ひします！

第2話

悠美の自己紹介も終わり、僕の前の席に座った

「アキ兄！久しぶりだね。ちゃんと高2に帰ってきたでしょ？」

「うん。いやー、僕も高2になつてからも、悠美が早く帰つてこないかなーって思つててさ。ホントに嬉しいよー！」

「何だ明久？幼馴染みか何かか？」

「うん。中2のときゅうに転校しちゃつてさ」

「ほー。まあこいつはさておいて、俺は坂本雄一だ。よろしくな

「よろしく」

「ちょっと雄一！雄一が効いてきたから答えたんじゃないか！」

「くそー！雄一のやつー何でいつも僕を田の敵にするのさ。

「わしは木のして秀吉じや。演劇部に所属しておる。特技といつほどでもないが声真似が得意じや。後それと・・・」

はーー。相変わらず秀吉は可愛いな。やっぱ僕の天使は秀吉だよ。

「アキ兄。木下君は男の子だよ。」

「な、何じやとーわしを男だと分かつたのはお主が初めてじやー！」

「??だつてどこからどう見ても男の子でしょ？」

「佐藤ーお主は良い奴じやー！」

そう言つて、涙を流しながら悠美の手を強く握つた。

「感動してるとこ悪いが、ムツツリーーが話したがつてるんだが・・・

・

僕の隣にはいつの間にかムツツリーが座っていた。

「…………土屋康太。」

相変わらずあんまりしゃべらないな。

「よろしく、土屋君。あつ！ あなたは姫路さんだよね？」
「はい。よろしくお願ひします」

「姫路のことは知ってるのか？」

「うん。小学校が一緒だったから」「でもあまり話したことはなかつたんですけど……」「これでとりあえず『姫路』紹介終わつた……」

はつー何やら後ろの方からダダならぬ殺氣が！

「アキ……。うちのこと忘れてない……！」

「わわわ、忘れてないよーやだなー、早とじやああああー、僕の背骨があああああー……」

ああ、悠美に4年ぶりに再会してほんの数分で僕の人生終了か……。悠美とあんなことやこんなことしたかつたな……つて！ 何考えてんだ！

「とまあ、あいつらはほつといこんな連中ばつかしかいないんだがよろしくたのむ」「楽しいクラスなんだね。楽しみー！」

そう言つて悠美は可愛い笑つた。やっぱり悠美は可愛いな

「ちゅうとーウチがまだよーウチは島田美波よ。 よりしくね」「よろしくね」

皆の自己紹介が終わつたころ・・・

「いいか！このクラスはこの前の試召戦争で負けて今はミカン箱の状態だ！今度の試召戦争で勝つために勉学に励めよ！では1時間目の授業の準備をしろ！」

そう言つて鉄人は教室から出て行つた。

「ねえ悠美。昼休み一緒に昼飯食べない？」

「アキ兄と? うん! 食べる!」

くうーーー！」の笑顔見せられたら思わず抱きしめたくなるよ！

「あ、明久君！なんでしたら私、お弁当作つてきたんですよ」

くつ！姫路さんのお弁当があつたか！一緒に食べるとなれば悠美も食べる可能性が！でも僕も命は捨てたくないしね…そうだ！雄一たちも誘えば…

「ねえ！ ひづれ！」

「「「いやだあああああ！死にたくないああああああああああああああ！」

۱۱۱

こうして悠美との久しぶりのお昼は殺人料理がならぶこととなつた・

•
•

第2話（後書き）

お久しぶりです！

テストが今度あるんでこれがテスト前最後の更新かな？
でも、なるべく更新したいです！

峻斗蛇駆でした！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6547y/>

バカとテストと召喚獣～幼馴染はロリータです～

2011年11月25日18時57分発行